

会 議 録

会 議 名	第20期小金井市公民館企画実行委員の会議 第23回		
事 務 局	公民館貫井南分館		
開 催 日 時	平成22年7月6日(火) 午前9時30分～正午		
開 催 場 所	公民館貫井南学習室A		
出 席 委 員	安部まり子委員、伊藤清委員、瀬上ゆき委員、妻木誠二委員、前川正治委員、松浦妙子委員		
欠 席 委 員	なし		
事 務 局 員	松本浩明主査、渡邊正志、山崎光昭		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 事業評価の取り組みについて</p> <p>2 第21期企画実行委員の選出について</p> <p>3 各講座の報告と計画 [報告] 高齢者学級「けやき学級」、国際交流イベント「七夕」、成人学校「アコースティック・ギター入門講座」 [計画] 成人学校「江戸野菜に親しもう」、高齢者学級「けやき学級」、音楽鑑賞のつどい、成人学校「歴史と文学散策」</p> <p>4 その他 企画実行委員交流会</p> <p>次回の日程について 平成22年8月3日(火) 午後3時～ 学習室C</p>		

審議経過（主な発言要旨等）

1 事業評価の取り組みについて

○報告書

- (1) 5回までしかないので、それ以上の回数場合は別紙となる。
- (2) 担当者の他に企画実行委員も列記したほうが良い。

○評価シート

- (1) 視点の中で「実施」は項目の「講師との関わり方」から始めたほうが良い。
- (2) ポイントについて、A B C Dの評価をした方がシンプルである。その際、A B C Dに付記してある文言は必要がない。
- (3) A B C D自体、「良い」、「普通」、「がんばろう」という方がシンプルである。
- (4) 例えば、項目の「テーマ設定」でA B C Dの評価をするのはどうか。
- (5) どうしてA B C Dの評価を付けたのかという文言が書ける欄があっても良いのではないか。
- (6) 評価は職員と企画実行委員で行うべきである。

○各館共通アンケート

- (1) 問4の対応については、職員には企画実行委員も含まれるのか。
- (2) 問3と5は、質問内容が重複しているので、問3はいらないと思われる。
- (3) そもそも、もっとシンプルなもので、例えば良かったか悪かったか、次回も参加したいか。ご意見、ご希望を自由にお書きくださいというもので良いと思われる。
- (4) 今後行ってもらいたい講座を書いてもらう欄が必要である。

2 第21期企画実行委員の選出について

去る6月15日（火）午後4時から本館学習室Aにおいて、候補者調整会を行った。今回は前回のようなことはなく、会議の初めに6人揃っているところは決定し、人数の満たない館での調整とする説明があり、貫井南分館は6人揃っていたためスムーズに決定した。

貫井南の新たなメンバーは表のとおりである。また、委嘱状の伝達は8月3日（火）午前10時から本館学習室Aで行うので、第21期のメンバーは全員参加となる。

3 各講座の報告と計画

【報告】

○高齢者学級「けやき学級」

6月9日（水）には、野外学習として足利学校へ行って来た。受講生からは広い和室に机と椅子でゆったりとした昼食が良かったとの感想が寄せられた。6月23日（水）の班活動では3班は雨天のため中止となったが他の班は実施した。松本も2・4班の東京農工大学化学博物館へ初めて行って来たが、実際、年代別の繊維機械を動かしてもらい生地ができる過程を見せてもらって興味深いものであった。

○国際交流イベント「七夕」

担当以外の企画実行委員、瀬上さん、前川さんの協力を得られたことが良かったことと、今回

は明確な進行表があったので、スムーズに進んだ。折り紙コーナーでは終始折り紙に興味もった留学生が熱心に先生の指導で、取り組んでいた。紙芝居では、外国の方に読んでもらったのが本人にとっては、とても良い経験となった。コーラスでは皆で歌ったこと、民謡では「あいの手」を入れることの体験、カントリー演奏では、歌に合わせた簡単なステップで踊ったことも良い体験となった。着物の着付けは先着10人までとしたので混乱もなかった。今回も地域のお手伝いがあったとても盛り上がった会となった。

○成人学校「アコースティック・ギター入門講座」

15人定員のところ32人の応募があった。6月25日（金）から初めて2回を経過したところである。計画段階では時間も遅いので職員だけで良いといていたが、妻木さんの細かなことで先生が必要な受講生の座席表や名札の作成等の助言、最後まで協力していただける企画実行委員（前川さん）がいることでその考えは間違っていたことに気付いた。また、企画実行委員の協力があったの公民館の講座ということを確認させられた。第1回目は、ドレミファソラシドの指の動きをスムーズにできるようになるようひたすら練習した。これは、ベテランの演奏者でも指の感覚を養うために行うものである。第2回目は、簡単なフォークソングが歌えるようになるコードを押さえる練習を行った。次回は、弦を取り替えてチューニングを体験する。この講座での狙いの一つである自主サークル化については、次回に皆さんに話してみようと考えている。先生もチラシでは怖そうな感じに見えたが、笑顔で生徒に接しているのがとても良い。総じて言えば、活気のある講座となっている。

【計 画】

○成人学校「江戸野菜に親しもう」

7月12日（月）には収穫祭を緑分館で行う。女性は9時30分に緑分館に集合、男性は午前9時に学芸大学農場に集合。企画実行委員のお手伝いをお願いする。8月25日（水）に野外学習として山梨果樹試験場へ行くので、7月21日（水）に実踏を行う。同行は、飯田さん、前川さん、妻木さん。その後は、9月に小菅に行く予定である。7、8月には、木曜収穫が始まる。また、妻木さん、瀬上さんには、今後も顧問として協力をいただける予定である。

○高齢者学級「けやき学級」

7月28日（水）に懇親会では、16ミリフィルムの上映（短編）を考えている。9月8日（水）・15日（水）に野外学習として成田山新勝寺他に行くので、8月18日（水）に実踏に行く。成田山新勝寺の他に往路に佐倉市の国立歴史民俗博物館へ立ち寄る予定である。

○音楽鑑賞のつどい

エバリー（グループ演奏）とマリンバ（3人位の演奏）の2つの案が出たが、昨年度緑分館の音楽鑑賞のつどいで行ったこと、12月クリスマス前の土日のいずれかの実施が望ましいが、エバリーについては12月の土日の予定が埋まっていることから考慮して、今年度はマリンバの演奏に決定する。実施日は12月19日（日）とする。

○成人学校「歴史と文学散策」

歴史では岩崎彌太郎に関係する庭園をめぐることと、文学は松尾芭蕉の記念碑を見学すること

を含めた形で考える。

4 その他

第20期と第21期の企画実行委員と職員の懇親会を8月3日（火）に、企画実行委員の会議（午後3時～学習室C）後に行う予定である。

次回 8月3日（火）午後3時～ 学習室C